

富士見市立本郷中学校だより



群 青

令和8年度全国学力・学習状況調査報告

群青 全国学調号

1 調査の目的（文部科学省）

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒（小学校6年生・中学校3年生）の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・令和8年度は国語・数学に加えて、英語も実施（英語はC B T(W e b 上のテスト)により、生徒ごとに異なる問題に解答し、予測正答率に基づくI R Tスコア方式）。

2 分析結果と課題（令和8年4月20日・23日実施）

（1）学力（国語・数学は平均正答率）

内容	全国	本郷中
国 語	63.9	64
数 学	57.0	57
英 語	499	515

本校の3年生は、全国と比較し国語と数学は全国平均と同等。英語は全国平均を大きく上回り、これまでの2年間の取組をとおして、学力を大きく伸ばしている傾向がある。問題別調査結果を分析すると、各教科にて以下のような結果となった。

なお、英語はI R Tスコアにおいて期待される予測正答率を算出したもので、500が基準とされている。

【国 語】

基本的な読解力や正しい答えを選択する力は見についているが、自分で考え、言葉を選び、表現することに対して苦手意識が見られる。自分の考えを言葉で書き、話し、伝える活動を通し、日常生活に生きる国語力を養っていきたい。

【数 学】

「数と式」・「データの活用」を得意としているが、「図形」・「関数」を比較的苦手としている。「根拠を説明する力」や「日常場面をグラフや式で説明する力」を日々の授業の中で伸ばしていきたい。

【英 語】

他の領域に比べてリスニングを苦手としている。授業内でも英語の音声に多く触れさせ、「要点を聞き取り、必要な情報を選び判断する力」を伸ばしていきたい。

- (2) 学習状況 ※「はい」＋「どちらかといえばはい」の割合 単位（％）
 （ ）内は分析と今後の方針

	質問項目	全国	本郷中	差
1	国語の勉強は好きですか （「好き」が学力の伸びにつながっている）	57. 2	75. 9	18. 7
2	数学の勉強は好きですか （数学の学習に前向きに取り組む生徒が増えてきている）	56. 1	60. 5	4. 4
3	英語の勉強は好きですか （英語の面白さを感じることから学力向上に努めていきたい）	51. 2	48. 4	△2. 8
4	自分には、よいところがあると思いますか （自己肯定感が育ってきている。詳細は後述）	84. 0	84. 7	0. 7
5	将来の夢や目標を持っていますか （学習・生活を将来の夢や目標につなげていきたい）	67. 6	73. 7	6. 1
6	いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか （高い水準を維持しているが、ここは100%にする）	95. 1	95. 6	0. 5
7	人の役に立つ人間になりたいと思いますか （引き続き、他者のために活躍できる生徒を育てていきたい）	95. 9	98. 9	3. 0
8	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか （他者の考えを受け入れながら学び合うことができています）	78. 6	80. 2	1. 6
9	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか （地域や社会に貢献する意識が育っている）	72. 3	80. 2	7. 9

3 課題の解決策

質問紙調査（学習状況や生活等に関するアンケート）では、80のアンケート項目に回答しているが、そのうち9項目を取り上げた。

右のグラフは、「自分にはよいところがあると思いますか」への回答。令和6年度までは、全国平均を大きく下回り、本郷中生は自分に自信がもてていなかった。それが昨年度大幅に改善され、今年度はついに全国平均を上回った。『自己肯定感』の向上は、学力・非認知能力・人間関係を支える土台となる。自分に自信をもち、生涯にわたって生き続ける「学び続ける力」や「困難に立ち向かう力」を育てていきたい。

学力も、国語の「好き」が全国平均を大幅に上回っていることに象徴されるように、「好き」だからこそがんばれる。教科学習に対する好き嫌いは、学力の伸びに直結していく。学校では、それぞれの教科に対して、日常生活の中での活用につなげたり、社会に出た時に役に立つなどの意識付けをし、学習意欲の向上につなげていきたい。

